



抱っこひも（腰ベルト式）
ルルタン

LeLutin

取扱説明書／保証書

このたびはお買上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

経年劣化があるので、不測の事態を避ける為、お買上げ日より

3年を超えたご使用はお控えください。

安全にお使いいただくために



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

落下の危険性：

- お子様は落下するおそれがありますので着脱は安全な場所で可能な限り低い姿勢で注意して行ってください。特に慣れないうちや、おんぶは介添えてもらってください。
- この取扱説明書をよく読み、正しく調節し、全固定箇所を確実に締めて使用してください。
- 身体を傾ける際には、お子様を手で支えて落下しないように注意してください。
- 大きく前屈みをせず、ものを拾うときは、お子様の頭が下向きにならないように、ひざを曲げて腰を落としてください。
- 製品に切れ・破れ・ヒビ等の破損がある場合は使用を中止してください。

窒息の危険性：

- 生後4ヶ月未満のお子様は、装着者の身体に顔が強く押し当てられた状態にしないでください。本製品内で窒息するおそれがあります。
- お子様を装着者の身体に強く縛り付けず、お子様の頭部を動かせる余裕があるように装着してください。
- お子様の気道をふさぐことがないか等、常に状態に注意して使用してください。
- 早産児及び呼吸器疾患等のある乳幼児は、生後1ヶ月でも縦抱っこを控え、医師にご相談ください。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

準備・着脱時の注意：

- 首のすわらないお子様はヘッドサポートで側頭部及び後頭部を保持してください。
- ご使用前に、バックル等の固定部が確実にとめられていること、特にサポートバックルを必ず確認してください。1箇所でも破損している場合は使用しないでください。装着後もゆるみがないかを確認してください。
- 抱っこで使用する場合、お子様の頭で前方、特に足下の視界が妨げられないように装着し、歩行時もおご注意ください。

ご使用に際しての注意：

- バックルの開口部にお子様が手指を入れないように、使用しないときでもバックルをはめ込んでおいてください。
- 授乳後30分間は使用しないでください。お子様のおなかを圧迫し、消化吸収をさまたげるおそれがあります。
- 連続2時間以上の使用はしないでください。お子様の体調や装着状況を常に確認してください。
- 体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じたら、ご使用をお控えください。
- 飛行機、車、バイク、自転車では使用しないでください。
- 料理や掃除等の家事でのご使用に際しては、火気によるやけど、屈むことによる転落等思わぬ事故につながるおそれがありますので十分ご注意ください。
- 製品を火気の近く、屋外、直射日光のあたる場所に放置・保管しないでください。
- 汗や水で湿った状態で摩擦を受けると他に色が移染する場合があります。
- 製品の改造はしないでください。
- 目的外の使用はしないでください。

※各パーツの名前は2ページを参照

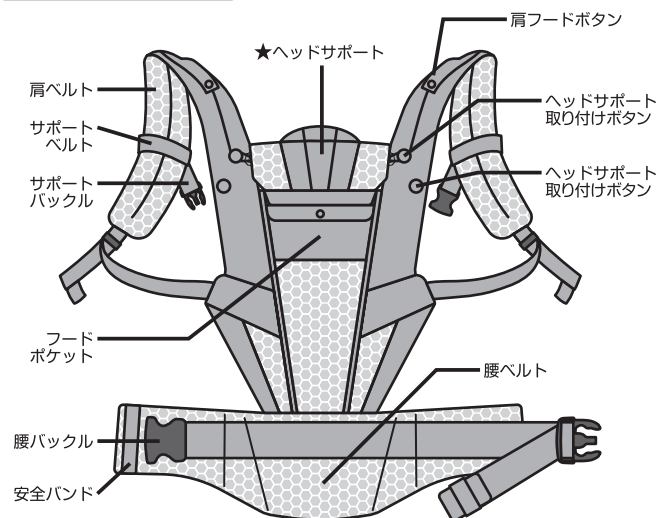
目次

□警告・注意	1P (表紙)
□目次・各部名称と付属品	2P
□抱き方と対象月齢・使用条件とヘッドサポートの取付け方・SGマークについて	3P
□装着前の準備と確認 (各種ベルトの調整、背あて幅の調整、お子様を抱く高さの調整)	4P
□④首すわり前の縦対面抱っこ	5P
□⑧首すわり後の縦対面抱っこ	6P
□③前向き抱っこ	7P
□①おんぶ	8P
□簡単な縦対面抱っこの装着方法・フードの使い方・お手入れ	9P
□保証書・商品に関するお問い合わせ先・使用方法の動画等	10P (裏表紙)

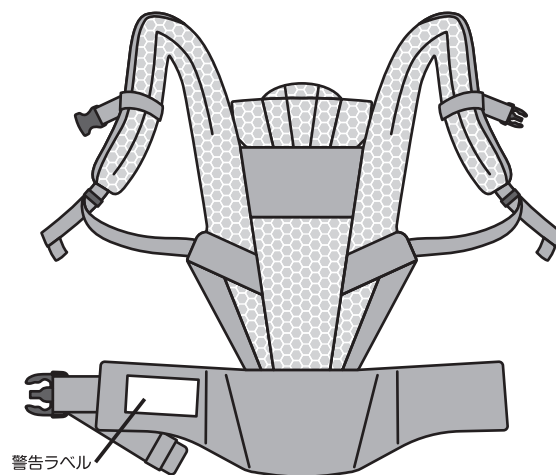
目次・各部名称と付属品

- 以下の「各部名称」で説明されているものの取付不良や、破損がないかを確認してください。
- 取付不良や破損の場合は、お買上の販売店またはお客様窓口にご連絡ください。

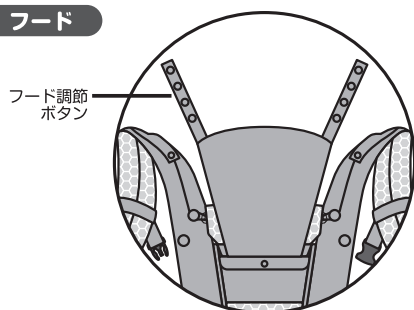
抱っこひも本体 (外側)



抱っこひも本体 (内側)

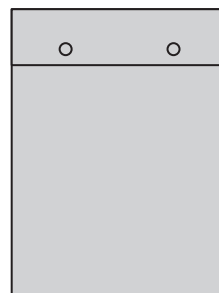


フード



フードはフードポケットに収納されています

付属品



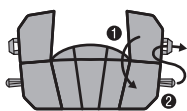
収納袋



取扱説明書/保証書

ヘッドサポートとは 【★ヘッドサポート】を使用することでお子様の頭部を守り、首すわり前でも対面抱っこが可能になります。

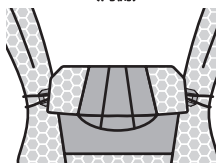
①メッシュ側が表になる様に倒す



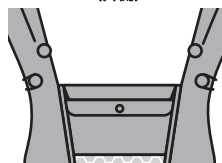
②ループをくぐらしてボタンに掛ける

内側へ折込み下ボタンに取り付けた時

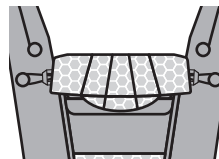
(内側)



(外側)



外側へ折込みした下ボタンに取り付けた時

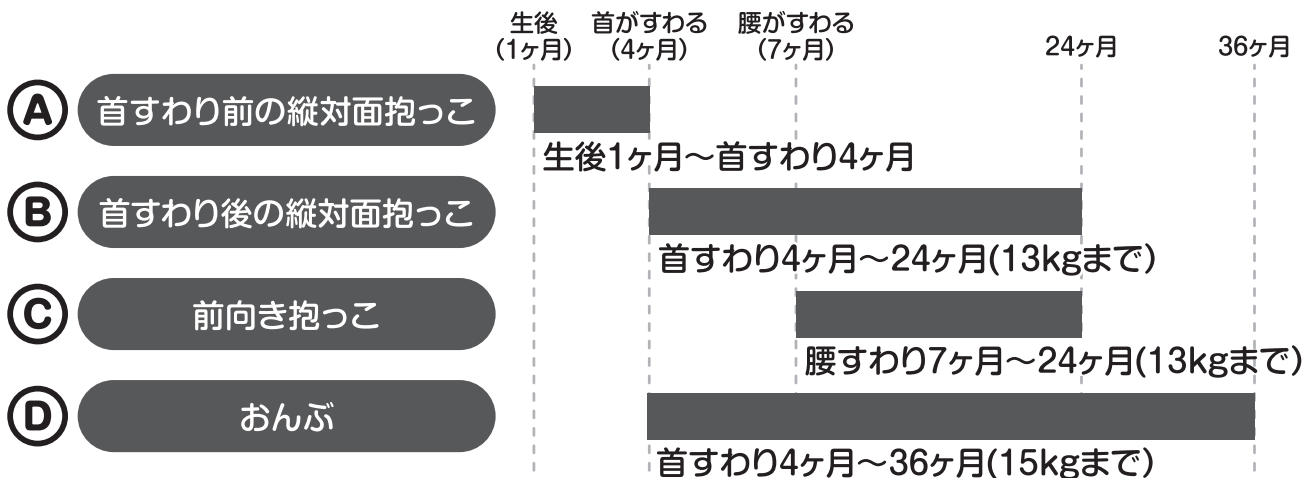


立てて上ボタンに取り付けた時



抱き方と対象月齢

- 退院時や、早産児・呼吸器疾患児等の場合は医師にご相談ください。
- 使用できる装着者のウエストサイズ 着衣後約135cmまでです。



※首すわり前は前向き抱っこやおんぶでは使用しないでください。
 ※首すわり(4ヶ月)前はヘッドサポートを使用してください。
 ※上記はあくまで一般的な目安です。月齢に応じたお子様の身長・体重には個人差があります。

(A)
首すわり前の
縦対面抱っこ



(B)
首すわり後の
縦対面抱っこ



※睡眠時

(C)
前向き抱っこ



(D)
おんぶ



※月齢とお子様の頭の高さに応じてヘッドサポートを調整します。

対象月例・抱き方

使用条件とヘッドサポートの取付け方

		下限	上限	ヘッドサポートの取付け方
(A)	首すわり前の縦対面抱っこ	1ヶ月	4ヶ月	内側へ折込み下ボタンに取付け
(B)	首すわり後の縦対面抱っこ	4ヶ月	24ヶ月	外側へ折込み下ボタンに取付け
			13kg	※睡眠時とフード使用時は、ヘッドサポートを立てて上ボタンに取付け
(C)	前向き抱っこ	7ヶ月	24ヶ月	外側へ折込み下ボタンに取付け
(D)	おんぶ	4ヶ月	36ヶ月	立てて上ボタンに取付け
			15kg	

SGマークについて

- SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけます。
- SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。
- 抱っこひもの場合は、お買上げ日から3年間有効です。
- 製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。製品の欠陥によって傷害等の身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。
- 詳細は、一般財団法人製品安全協会のホームページ <http://www.sg-mark.org/> を参照ください。



装着前の準備と確認

●すべての抱き方に共通の準備になりますので必ず確認してください。



警告

- お子様を乗せる時やおろす時は、実際に使用になる前に安全な場所であらかじめ準備・調節しておいてください。
- 全ての調節部分を正しく調節し、正しく装着してください。

各種ベルトの調整

サポートベルトの調節 それぞれ使用する抱き方の仕様をご確認頂き、調整してください。

縦対面抱っこ・前向き抱っこ

①



①サポートベルトの上下位置を、ご自分の背中中で止められる高さに調節してください。下げすぎるとサポートバックルが止めにくく、上げすぎると首に負荷がかかります。肩ベルトをゆるめてから一度両方の肩ベルトを前に引っ張ると、サポートバックルをつかみやすくなります。

②



②サポートベルトの長さを調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。

おんぶ



サポートベルトの上下位置を、ご自分の快適な位置に調節してください。通常は抱っこの位置より下側になります。サポートベルトの長さを調節してください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

腰ベルトの調節

腰ベルトの長さを装着者に合わせて調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。



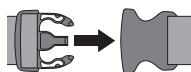
肩ベルトの調節

肩ベルトの長さは、左右の端をつかめるくらいに伸ばしておいてください。

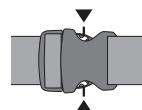


バックルのとめ方・外し方

取り付ける時



取り外す時

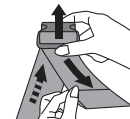


▼印の箇所を押して、抜いてください。

【警告】「カチッ」と音がしてから引っ張って確認してください。

ベルト調節の方法

短くする時



ベルトが引きにくいときはバックルやアジャスターを立ててください。

長くする時

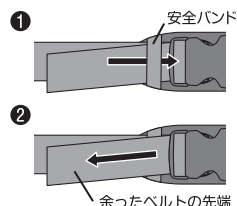


バックルやアジャスターを立ててベルトを引いてください。

安全バンドの使い方

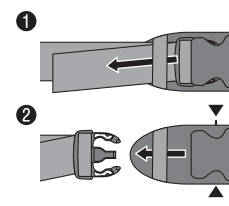
止め方

- ①バックルを安全バンドに通し、バックルを止めます。
- ②余ったベルトの先端を安全バンドの外に出します。



外し方

- ①ベルトの先端を安全バンドに通します。
- ②バックルを外し、バックルを安全バンドから抜き取ります。



▼印の箇所を押して、抜いてください。

余ったベルトの処理方法



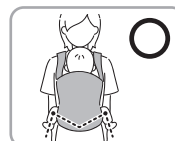
余ったベルトを折りたたみ、先端の伸縮バンドでまとめます。

余ったベルトが長い場合、ひとつにまとめるループの長さを長くすると、薄いループで巻くことができます。

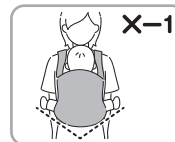
背あて幅の調整方法



お子様のお尻と背あての間に手を入れ、お尻が背あてに収まり膝の裏を支えるように背あての幅を調整してください。
背あてが広すぎると×-1の状態に、逆に狭すぎると×-2のようになります。

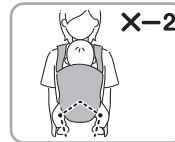


脚がM字型になっている正しい状態。



×-1

脚が開きすぎているので背あて幅を狭くする。



×-2

脚が下がりがすぎているので背あて幅を広くする。

お子様を抱く高さの調整方法

1～4か月のお子様への抱っこの際には、使用する方がお子様のおでこにキスできる高さに位置を調整してください。
腰ベルトの固定位置を上げることで調整可能です。



お子様が低い位置で抱かれている。
→ウエストベルトを固定する。
高さ、肩ストラップの長さを調整する。

A

首すわり前の縦対面抱っこ

下限

1ヶ月

上限

4ヶ月

ヘッドサポートの取付け方

内側へ折込み下ボタンに取付け



※ヘッドサポートを調整します。

準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- 首すわり前のお子様はヘッドサポートの装着が必要です。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

ご使用方法



警告 装着と取り外しは、必ず安全な場所を確保し、行ってください。



①腰ベルトを装着します。



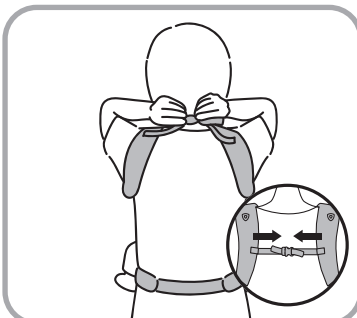
②お子様を抱き上げ、両足を開脚させます。



③抱っこ紐を被せて右手でお子様を支え、左腕を左の肩ベルトに通します。



④左手で本体の上からお子様を抱き、右腕を右肩ベルトに通します。



⑤サポートバックルを留めます。



⑥肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

CHECK!

鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: お子様の顔が装着者の胸に密着していない

チェック2: 気道確保^{※1}の再確認

チェック3: お子様の胸と装着者の間に手のひら1~2枚分の隙間がある

チェック4: 頭が左右に動かせる

チェック5: お子様の手足が挟まれている

チェック6: お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない

※1: 気道確保とは、お子様の口や鼻がふさがれていない、顎と胸の隙間が小さくなり喉を押し付けていない等呼吸がしやすい状態にすることです。



気道が確保された正しい状態。



頭が前に下がる、顎で気道をふさぐ危険がある。

警告 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

縦対面抱っこからお子さまを降ろす方法

装着するときの逆の手順でおろしてください。

⑤ 首すわり後の縦対面抱っこ

下限
4ヶ月

上限
24ヶ月

ヘッドサポートの取付け方

外側へ折込み下ボタンに取付け
※睡眠時は、立てて上ボタンに取付け



※ヘッドサポートを調整します。

準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。
- ※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

ご使用方法



警告 装着と取り外しは、必ず安全な場所を確保し、行ってください。



①腰ベルトを装着します。



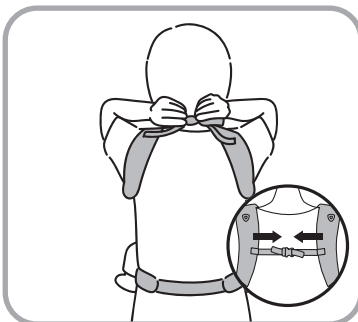
②お子様を抱き上げ、両足を開脚させます。



③右手でお子様を支え、左腕を左の肩ベルトに通します。



④左手で本体の上からお子様を抱き、右腕を右肩ベルトに通します。



⑤サポートバックルを留めます。



⑥肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

CHECK!

鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない

チェック2: 気道確保^{※1}の再確認

チェック3: お子様の胸と装着者の間に手のひら1~2枚分の隙間がある

チェック4: 頭が左右に動かせる

チェック5: お子様の手足が挟まれていない

チェック6: お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない



※1: 気道確保とは、お子様の口や鼻がふさがれていない、顎と胸の隙間が小さくなり喉を押し付けていない等呼吸がしやすい状態にすることです。



気道が確保された正しい状態。



頭が前に下がると、顎で気道をふさぐ危険がある。

警告 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

縦対面抱っこからお子さまを降ろす方法

装着するときの逆の手順でおろしてください。



前向き抱っこ

下限

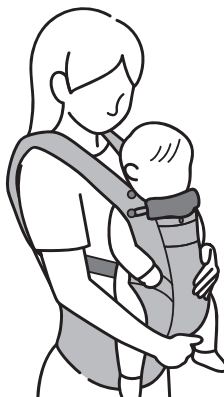
7ヶ月

上限

24ヶ月

ヘッドサポートの取付け方

外側へ折込み下ボタンに取付け



※ヘッドサポートを調整します。

準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

ご使用方法



警告 装着と取り外しは、必ず安全な場所を確保し、行ってください。



①腰ベルトを装着します。



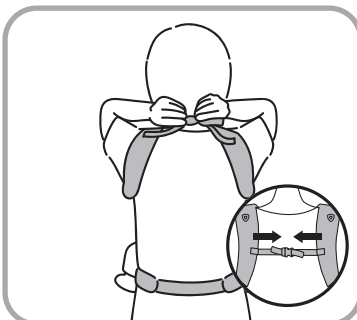
②お子様を抱き上げ、両足を開脚させます。



③右手でお子様を支え、左腕を左の肩ベルトに通します。



④左手で本体の上からお子様を抱き、右腕を右肩ベルトに通します。



⑤サポートバックルを留めます。



⑥肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

CHECK!

鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない

チェック2: 気道確保^{※1}の再確認

チェック3: お子様と装着者の間に手のひら1~2枚分の隙間がある

チェック4: 頭が左右に動かせる

チェック5: お子様の手足が挟まれていない

チェック6: 全体が無理な体勢になっていない

※1: 気道確保とは、お子様の口や鼻がふさがれていない、顎と胸の隙間が小さくなり喉を押し付けていない等呼吸がしやすい状態にすることです。



気道が確保された正しい状態。



頭が前に下がると、顎で気道をふさぐ危険がある。

警告 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

前向き抱っこからお子様を降ろす方法

装着するときの逆の手順でおろしてください。

④ おんぶ

下限

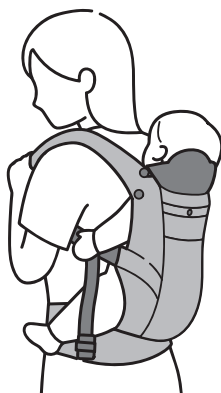
4ヶ月

上限

36ヶ月

ヘッドサポートの取付け方

立てて上ボタンに取付け



準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
 - サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。
- ※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

ご使用方法



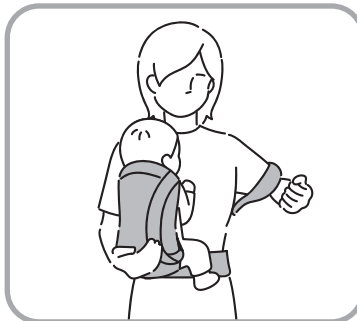
警告 装着と取り外しは、必ず安全な場所を確保し、行ってください。



①腰ベルトを装着します。



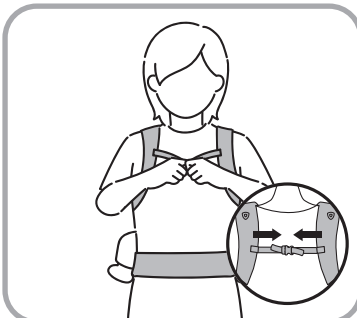
②お子様を抱き上げ、右手で支え、左手で本体をお子さまに被せます。



③右手で本体の上からお子様を支えるように持ち替え、本製品を後方へゆっくりと回して左手を左の肩ベルトに通します。



④右手でお子様を支えながら、左手で右肩ベルトを取り、お子様を本体で支え、右手を右肩ベルトに通します。



⑤サポートバックルを留めます。



⑥肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

CHECK!

鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

チェック1: お子様の胸と装着者の間に手のひら1~2枚分の隙間がある

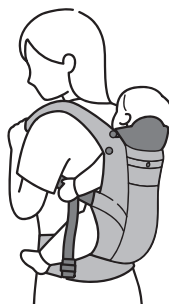
チェック2: 気道確保^{※1}の再確認

チェック3: お子様の顔が装着者の背中に密着していない

チェック4: 頭が左右に動かせる

チェック5: お子様の手足が挟まれていない

チェック6: お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない



※1: 気道確保とは、お子様の口や鼻がふさがれていない、顎と胸の隙間が小さくなり喉を押し付けていない等呼吸がしやすい状態にすることです。



気道が確保された正しい状態。



頭が前に下がると、顎で気道をふさぐ危険がある。

警告 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

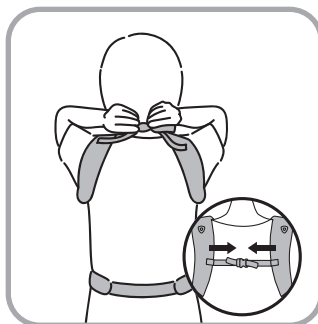
おんぶからお子様を降ろす方法

装着するときの逆の手順でおろしてください。

簡単な縦対面抱っこの装着方法

●最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。

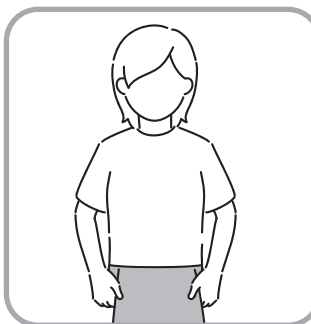
警告 装着と取り外しは、必ず安全な場所を確保し、行ってください。



①サポートバックルを留め準備します。



②肩ベルトは、お子様を抱っこする状態より20cm程長くしてください。



③サポートバックルを留めた状態で首と腕を抱っこひもより外します。



④お子様を抱き上げ、両足を開脚させます。



⑤抱っこ紐を被せます。



⑥ショルダーを頭からかぶります。



⑦肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

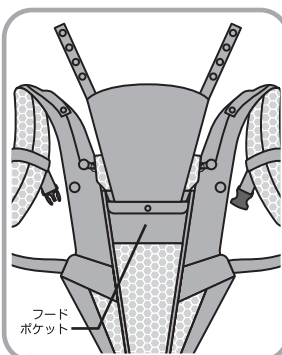
その他

フードの使い方

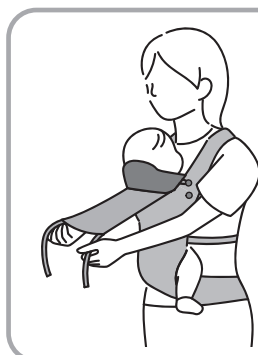
●前向き抱っこには使用しません。



- お子様を日差しから守ったり、首カクンを防止します。
- 使用しないときには、本体のフードポケットに収納願います。
- フードを使用の際には、ヘッドサポートを立て上ボタンに取り付けてください。

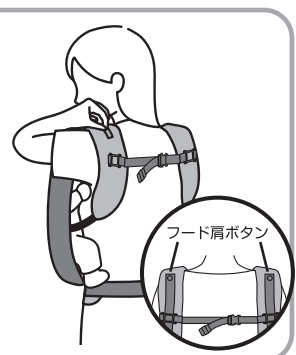


①本体のフードポケットからフードを出します。



②本体のフード調節ボタン(左右)を肩フードボタンにとめます。

※最適な位置のボタンをとめてください。
※着脱は無理に引っ張ったりせずボタンの近くを持ってボタンの垂直方向に着脱してください。



警告 フードを使う時は、特にお子様の様子に注意してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

お手入れ



30℃を限度とし、洗濯機(非常に弱い洗濯)か、やさしく手洗いをしてください。



漂白しないでください。
タンブル乾燥機は使用しないでください。



遠心脱水の場合は短時間で実施し、形を整えて日陰の吊り干しをしてください。



アイロン掛けはできません。
ドライクリーニングはできません。



ウェットクリーニングができます。
(非常に弱い処理)

- 色落ちする場合がありますので他のものとは別に洗ってください。
- 洗濯ネットを使用し、すべてのバックル類をはめ、無蛍光洗剤を使用してください。
- 洗濯すると縮むことがあります。
- 軽い汚れは、湿った布でたたいて落としてください。
- 生地表示等は、製品の洗濯表示ラベルを参照ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料保証を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中、製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定

- 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 保証期間内（お買い上げ日より1年）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で保証いたします。
- 保証期間内でも次のようなものは保証対象外となります。
 - 部品の自然劣化による変色や変形。
 - 縫製部分の傷や破れや汚れ。
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や事故による故障および損傷。
 - 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 一般家庭以外で、業務用等にご使用され故障した場合。
 - 伸縮バンド、フード等のゴム類の伸び。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスはいたしかねます。
- 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、保証できないこともあります。

製品名 抱っこひも（腰ベルト式）ルルタン	お買い上げ日 年 月 日	販売店名
管理番号 （警告ラベルと本体の間のタグをご確認ください）	保証期間 お買い上げ日より1年 （ただし保証規定による）	
お客様	お名前 様 TEL	
	ご住所	

- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名、管理番号をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合はこの保証書及びレシート、または保証書シール、または保証書レシートをご提示ください。
- ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に依頼できない場合はお客様相談窓口にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後において不明な点がある場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。
- 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障保証についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。
- 本製品は安全を重視している為、厚い生地を使用し多くの補強縫製部を有しています。確実に縫製するために、生地の重なり部分や補強縫製部の色目が変わることがありますが、安全性を優先させておりますのでご理解ください。
- 製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。
- 取扱説明書の図の細部等が実物と異なる場合があります。

商品に関するお問い合わせ

販売元

株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】フリーダイヤル 0120-7-24028

受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日・弊社所定休日を除く）

使用方法の動画等

使用方法の動画等の情報に関しましては、下記のホームページ経由で参照いただけます。

URL

<http://www.24028.jp/>